



いちよし証券

証券コード：8624

事業の中間ご報告

(2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日)

ごあいさつ



皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第84期中間期（2025年4月1日から2025年9月30日）における当社および当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

当中間期の国内株式市場は、米国の関税政策に対する不透明感から期初に安値を付ける場面もありましたが、8月以降は日経平均株価の史上最高値の更新が続き、強い基調の展開となりました。

当社におきましては、引き続き、マーケット環境に左右されにくい安定的な収支構造の構築を目指し、中期経営計画「3・D」の目標であります預り資産3兆円への拡大に取り組んで参りました。

計画期間も残り半年となりましたが、当社はこれまで以上に、いちよしのグループ力を最大限に発揮し、預り資産の拡大を核とした持続的な成長の実現に努めて参りますので、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表執行役社長 玉、田 弘 文

いちよしのフレド(企業理念)

当社は、「今までの日本にない証券会社をつくろう」を合言葉に、企業理念の中心に「いちよしのフレド」(2006年制定)を置き、その実現に取り組んでいます。「フレド」とは、「企業の信条や行動指針を記したもの」で、当社が社会に存在する意義についての全役職員共通の価値観となっています。

「いちよしの存在価値」

一人一人のお客様のお役に立つことにより、地域社会と証券市場の発展に貢献する

社員のために

社員の個性を尊重し人材の育成に努めます。

チームワークを重視し、明るく風通しが良い職場環境作りに努めます。

社員が能力を活かし情熱を持って業務を遂行できるような自由闊達な企業風土作りに努めます。

株主のために

持続的な業績拡大を目指し企業価値の向上に努めます。

事業の収益性と財務の健全性を高め株主の皆様への利益還元を重視します。

経営の透明性を確保するため情報を適切に開示しIR活動に努めます。

お客様のために

お客様の話を良くお聞きし、お客様の立場に立ち、真心を込めてアドバイスをします。

社会や市場の変化に対応した質の高いサービス・商品・情報を提供します。

孫子の代までも継続してお役に立てるように努めます。

社会のために

金融・証券市場の担い手として社会の発展に貢献します。

法令・諸規則を遵守し、高い倫理観を持って行動します。

社会貢献活動を継続して実行します。気候変動対応や環境保全活動を通じ持続可能な社会の実現に努めます。

経営理念

お客様に信頼され選ばれる企業であり続ける

経営目標

金融・証券界のブランド・ブティックハウス

行動指針

感謝 誠実 勇気 迅速 継続

第2四半期(中間期)連結決算のご報告および中間配当について

営業収益

106億03百万円
(前年同期比 109.0%)

経常利益

18億98百万円
(前年同期比 120.0%)

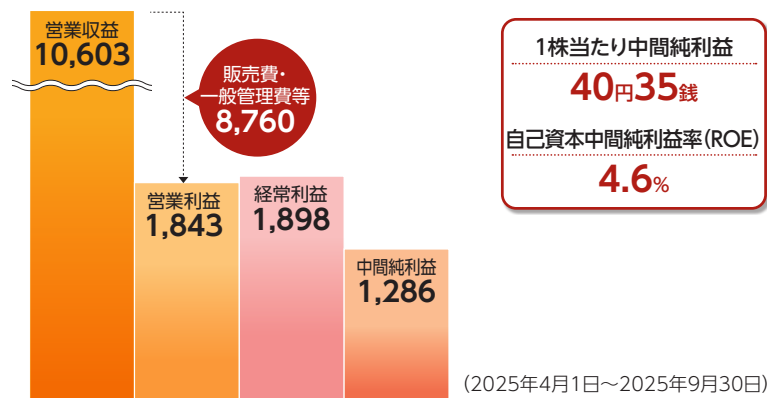
中間純利益

12億86百万円
(前年同期比 123.5%)

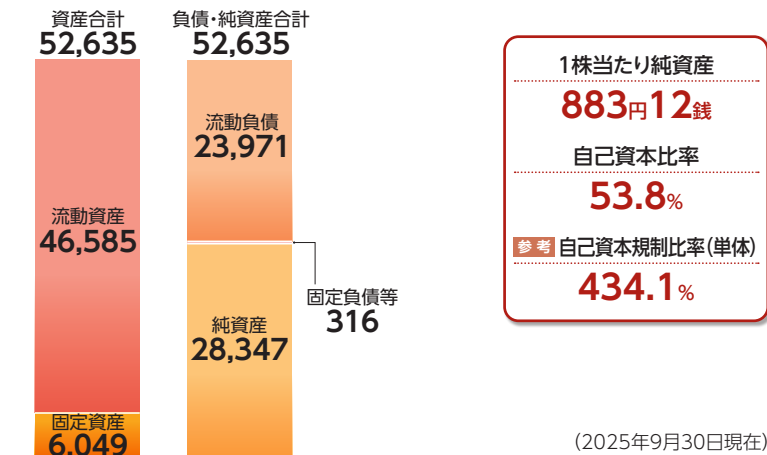
中間配当

1株当たり**30**円
(普通配当 20円)
(記念配当 10円)

■ 中間連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



■ 中間連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



■ 配当に関する方針および当中間期の配当

連結ベースでの配当性向(50%程度)と純資産配当率(DOE2%程度)を配当基準とし、半期毎に算出された金額について、いずれか高いものを採用して配当金を決定しており、当中間期は連結配当性向を採用させていただきました。

また当社が、2025年8月18日に創立75周年を迎えたことを記念し、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するため、創立75周年記念配当として、2025年9月末の株主に対して中間配当時に1株当たり10円、2026年3月末の株主に対して期末配当時に1株当たり10円、の合計年間20円とする方針を決定いたしました。

以上により、当中間期の1株当たりの配当金は、普通配当20円、記念配当10円の合計30円とさせていただきます。

お客様本位のアドバイス活動を実現するための「改革の断行」

「売れる商品でも、売らない信念」と「お客様独自のオーダーを仕立てる信念」

当社は「お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける」を経営理念とし、創業以来、お客様との信頼関係を何より一番としたサービスのご提供を実践して参りました。そして2019年より、お客様本位の業務運営をさらに推進するための20年振りの「改革の断行」を進めております。「改革の断行」にあたり当社は、20年来掲げて参りました「仕組み債は取り扱いわない」「個別外国株は勧誘しない」等の「お客様のためにならない商品は取り扱いわない」という7つの原則「いちよし基準」にもとづく「売れる商品でも、売らない信念」に加えて、お客様のために為すべきこととして「お客様独自のオーダーを仕立てる信念」を掲げ、お客様1人1人のニーズに即したオーダーメイドのポートフォリオ提案に取り組んでおります。

いちよしグループはこれからも、「売れる商品でも、売らない信念」と「お客様独自のオーダーを仕立てる信念」のもと、中小型株の調査・分析機関としては国内最大級であるいちよし経済研究所（IRI）のリサーチ力、中小型株運用のスペシャリストであるいちよしアセットマネジメント（IAM）の運用力、当社のお客様本位のアドバイス力という当社グループの強みを最大限に発揮し、対面アドバイスにこだわり抜いた「金融・証券界のブランド・ブティックハウス」の実現を目指して参ります。

■ お客様本位の様々な取組み

当社は、お客様本位の観点から様々な取組みを行うとともに、常にお客様の利便性向上を目的としたお客様向けサービスの改善・見直しに取り組んでおります。お客様の中長期での資産運用の中核となりますファンドラップ「ドリーム・コレクション（愛称：ドリコレ）」につきまして、「ドリコレNISA」や積立に対応した「ドリコレ・ミニ」に加え、相続対応サービス「ドリコレ・パス」をご用意し、お客様の世代を超えた中長期的な資産形成をサポートしております。

また、対面型のファンドラップとしては業界で先駆けて、運用成績や手数料等の詳細情報を当社のHP上で公開し、積極的な情報開示に取り組んでおります。

オンラインサービス「いちよしオンライン」におきましては、本年4月より、サービスを拡充し、資産評価額・預り明細・取引履歴・トータルリターン情報を閲覧いただけるようになりました。

引き続き、お客様の利便性向上に向けた取組みを拡充して参ります。

中期経営計画「3・D」と預り資産の拡大に向けて

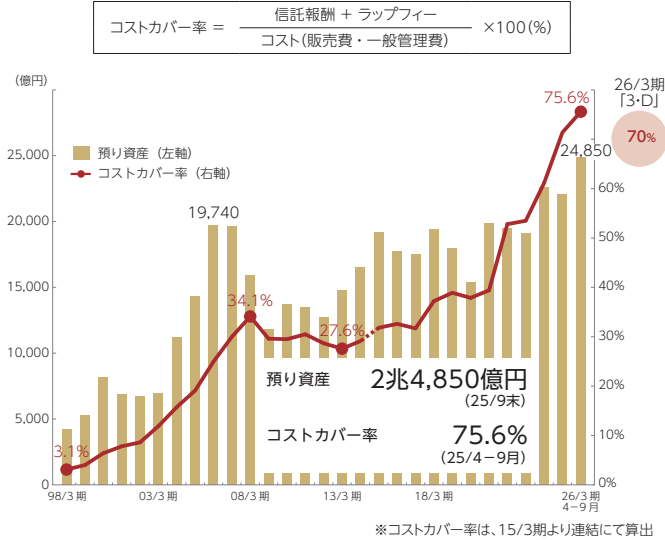
当社は20数年来、売買手数料中心の「フロー型ビジネスモデル」から、投資信託の信託報酬やラップフィーを中心としたお客様本位の「ストック型ビジネスモデル」への転換を目指して参りました。

このビジネスモデルの転換をより一層加速させるべく、2023年4月より計画期間3年で、中期経営計画「3・D」をスタートし、預り資産3兆円、コストカバー率70%、ROE10%の数値目標に取り組んでおります。

預り資産拡大の柱となる投資信託につきましては、お客様の大切なご資産を中長期にわたりお預けいただける資産運用サービスとして、ドリコレを中心に取り組んでおり、ドリコレにつきましては、当期末において29,741口座、3,834億円と順調に増加しております。

計画期間も残り半年となりました。全役職員一丸となって「3・D」の達成に向け、取り組んで参ります。

＜預り資産とコストカバー率の推移＞



■ コストカバー率の更なる向上を目指して

当社では、投資信託の信託報酬やラップフィーなどの安定収益の販売費・一般管理費に対する比率をコストカバー率と定義し、収支構造の安定化と、お客様本位の「ストック型ビジネスモデル」への転換の進捗状況を示す重要な経営指標の一つと位置付けております。

当中間期は75.6%と、「3・D」の数値目標であります70%を超えており、マーケット環境に左右されにくい安定的な収益構造の構築に向けて、着実に、お客様本位の「ストック型ビジネスモデル」への転換が進んでおります。

引き続き、安定的に70%以上の水準を維持するとともに、更なる向上を目指して参ります。

お客様のためにやらないこと

- 私たちは、お断りする事があります。
- いちよし基準＝個人のお客様向け商品についての原理原則
- 公募仕組み債は取り扱いません。
 - 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いません。
 - 私募ファンドを取り扱いません。
 - 個別外国株は、勧誘しません。
 - 投信運用会社は、信頼性と継続性で選びます。
 - 先物・オプションは勧誘しません。
 - FX(外為証拠金取引)は取り扱いません。
- 私たちは、このいちよし基準を20年来守り続けています。



私たちは、お断りする事があります。
「いちよし基準」＝「個人のお客様向け商品についての原理原則」

- 公募仕組み債は取り扱いません。
- 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いません。
- 私募ファンドを取り扱いません。
- 個別外国株は、勧誘しません。
- 投信運用会社は、信頼性と継続性で選びます。
- 先物・オプションは勧誘しません。
- FX(外為証拠金取引)は取り扱いません。

私たちは、この「いちよし基準」を20年来守り続けています。

選ばれ続ける証券会社へ。
いちよし証券

お客様独自のオーダーを仕立てる信念。



私たちは、為すべき事があります。

- お客様ひとりひとりに最もふさわしい一着を仕立てあげる「テーラー」のように、いちよし証券は、お客様のオンリーワンのパートナーとして長くお取引いただける会社を目指しています。
- お客様のニーズを十分にお聞きし、お客様のご意向に沿ったポートフォリオをご提案いたします。
- 市場変動やお客様のニーズの変化に応じて、ポートフォリオのアフターフォローに努めます。

お客様のために為すべきこと

- 私たちは、為すべき事があります。
- お客様ひとりひとりに最もふさわしい一着を仕立てあげる「テーラー」のように、いちよし証券は、お客様のオンリーワンのパートナーとして長くお取引いただける会社を目指しています。
 - お客様のニーズを十分にお聞きし、お客様のご意向に沿ったポートフォリオをご提案いたします。
 - 市場変動やお客様のニーズの変化に応じて、ポートフォリオのアフターフォローに努めます。

会社概要		(2025年9月末現在)
会 社 名	いちよし証券株式会社(証券コード: 8624) Ichiyoshi Securities Co., Ltd.	
創 立	1950年8月18日	
本 社 所 在 地	東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号 東京証券会館	
代 表 者	代表執行役社長 玉田 弘文	
電 話	03-4346-4500(代表)	
資 本 金	145億77百万円	
純 資 産	283億47百万円	
自己資本比率	53.8%	
自己資本規制比率	434.1% (単体)	
従 業 員 数	1,006名	
営 業 拠 点 数	52カ店	

株式事務のご案内

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日	
期 末 配 当 金 受領株主確定日	3月31日	
中 間 配 当 金 受領株主確定日	9月30日	
定 時 株 主 総 会	毎年6月	
株主名簿管理人 特 別 口 座 の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同 連 絡 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel. 0120-232-711(通話料無料)	
上 場 金 融 商 品 取 引 所	東京証券取引所プライム市場	
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.ichiyoshi.co.jp (ただし、電子公告によることが出来ない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた 時には、日本経済新聞に公告いたします。)	

一人、一人の『いちばん』でありたい

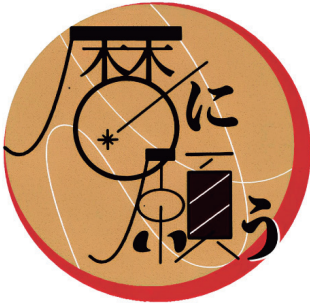
いちよし証券はおかげさまで
創立75周年を迎えました

いちよし証券の
提供番組ご案内

「暦に願う」

毎週日曜よる8時54分～

BS朝日



語り／三田寛子 企画協力／CFA 制作／BS朝日 テレビスタッフ

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

環境に配慮した植物油
インキを使用して印刷
しています。

ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C022915